

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）検出に伴う対応について

大阪母子医療センターの一部の病棟において、数名の患者さんから抗菌薬が効きにくい細菌であるカルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）が検出されました。

1名の患者さんにおいてCREによる尿路感染症を認めましたが、他の患者さんについては、現在のところ感染症の発症には至っておらず保菌の状態と考えられます。

CREは通常の大腸菌と同様に、腸内に常在している状態（保菌）であれば病気の原因となりませんが、治療における医療器具の使用や患者さんの状態によっては病気の原因となることがあります。またCREが原因となって感染症を発症した場合には有効な抗菌薬が限られるため治療が難しくなる場合があります。

当センターでは感染が拡大しないよう感染対策の徹底と定期的な検査を行っていますが、数名の患者さんからCREが検出されたことを重く受けとめ、その原因等について、現在保健所および感染対策の専門家と連携して調査を進めています。

こうした状況から、当面の間、救急患者さんの受け入れについては制限しておりますので、当センターにお問い合わせください。入院中の患者さんやご家族の皆様、他の医療機関の関係者の皆様には大変ご心配・ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

今後の経過については、随時このホームページにおいて報告してまいります。カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）の詳細については下記をご参照ください。
<参考>米国CDCが警告を発したカルバペネム耐性腸内細菌(CRE)に関するQ&A：
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/cre-m/2384-idsc/3306-carbapenem-qa.html>

平成30年12月27日

大阪母子医療センターのお問い合わせ先：0725-56-1220（代表）